

新たな世田谷ものづくり学校（旧池尻中学校跡地）における今後の事業展開について

1 主旨

世田谷ものづくり学校は、旧池尻中学校校舎を活用した新たなコミュニティの場として、平成16年に開設し、学校跡地活用の好事例として、全国的にも注目される施設となっている。しかし、開設から15年が経過したことで、これまでの取組みを評価・検証し、新たな事業展開を図ることとし、有識者や民間事業者などと意見交換を重ね、基本コンセプト策定に向けて検討を進めてきた。

今年度は基本コンセプトをもとにサウンディング調査及びプロポーザル公募による運営事業者の決定を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響による事務事業等の緊急見直しにより、令和3年度の耐震補強工事・中長期保全改修工事を1年間延期し（令和2年4月22日企画総務常任委員会報告）、また、サウンディング調査の際に今年度は事業者からの提案が少なくなる可能性があること、さらに、地域住民への説明会開催の日程の見通しも立たないことから、全体のスケジュールを1年間延期する。

それに伴い、令和3年5月までであった現事業者との契約内容を見直した上で、契約の交渉を行う。

2 これまでの経過

- ・平成16年3月31日 池尻中学校廃校
- ・平成16年7月から平成21年7月 第1期（開設は平成16年10月）
 - ▶ （株）イデーアールプロジェクトによる運営開始
 - ▶ 平成18年に（株）世田谷ものづくり学校に事業引継ぎ
- ・平成21年7月から平成26年7月 第2期（契約更新）
- ・平成26年7月から令和元年7月 第3期（プロポーザルによる選定）
 - ※耐震補強再診断施設となったため令和3年5月まで契約延長
- ・令和元年12月～ 有識者や事業者と意見交換による基本コンセプトの検討

3 世田谷の新たな産業・学びの拠点（旧池尻中学校跡地）に向けた検討状況

昨年12月より様々な分野の専門家や、事業参入に関心のある事業者などと意見交換を重ね、①敷地を有効活用しより地域に開かれた空間、②単なる創業支援ではなく社会課題を解決するような取組の支援、③子育て中やフリーランスの方など職住近接のための多様な働き方の拠点、④これからの未来を担う子どもの多様な学び場の構築、⑤世田谷区全体に効果を波及させていく仕組みなどの様々なご提案に基づき新たな方向性を整理した。（別紙参照）

一方、新型コロナウイルス感染症により、企業収益の悪化や倒産・解雇などの増加、テレワークの活用などによる働き方改革が求められるなど、企業活動や区民生活に大きな影響が生じていることも踏まえ、今後の事業展開に反映していく必要がある。

そのため、新型コロナウイルス感染症による影響などの実態も把握したうえで、今後社会や企業に求められる新たな要素を、様々な分野の専門家や民間事業者ヒアリングを行い反映することで基本コンセプトを策定し、それに基づき令和3年度中に運営事業者を決定する。

なお、施設運営の契約形態については、これまでどおり区が民間事業者へ施設を有償で貸付、区との基本協定に基づき事業者が運営する仕組みを基本とする。

4 令和3年6月から4年5月（耐震補強工事等の開始）までの対応について

耐震補強工事・中長期保全改修工事が1年間延期することとした。令和3年5月に現事業者との契約が終了すると、工事開始までの間、閉鎖管理施設として清掃・機械警備・光熱水費等の経費がかかることになる。また、他用途への転換は期間・改修費用の面から活用が難しい。

このことから、現事業者との契約内容を見直し、工事開始までの1年間の契約を行い、施設の未利用期間を生じさせず有効活用する。

契約の内容については、現事業者と協議の上、新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえ、①新たな時代に対応するための起業・創業ニーズやスタートアップの事業環境が厳しくなっていることも鑑み、現在行っている起業・創業支援を強化する。②フリーランスなどを支援するため、ワークスペースの機能拡充を図り、多様な働き方を進める「職住近接」を実現する拠点としての機能を強化する。③外出やイベントの制限により、多様な学びの機会が不足している子ども向けの取り組みについて、オンライン等を活用して充実させる。以上を軸に契約の交渉を行う。

5 今後のスケジュール（予定）

令和2年	8月～	基本コンセプト策定に向けた追加ヒアリング （専門家や民間事業者などとの意見交換等）
令和3年	2月	区民生活常任委員会（基本コンセプトについて）
	3月～	サウンディング調査 地域住民説明会
	6月	新たな契約の開始（令和4年5月まで）
	7月	区民生活常任委員会（公募要件について）
	8月	地域住民説明会
	9月	運営事業者公募
	12月	運営事業者決定
令和4年	2月	区民生活常任委員会（運営事業者決定について）
	5月	新たな契約の終了
	6月～	耐震補強工事、中長期保全改修工事 ※8ヶ月程度
令和5年		運営事業者契約、内装工事等実施、新規施設開設

“世田谷の新たな産業・学びの拠点”に向けた方向性について

これまでの世田谷ものづくり学校としての枠を超え、社会課題をテクノロジー（ものづくりやIT技術）を用いて解決する社会起業家を育成するとともに、未来の産業を担う人づくりに向けた取組みを実施し、それらの多様な人材が交流しあう地域に開かれた場【プラットフォーム】を実現する。

【校舎・体育館・校庭を一体性をもって地域に開かれた空間へ】
（活用の可能性）

- ・多世代が交流できる場やイベント
- ・広く一般の方々がスポーツできる場
- ・農業やものづくり体験ができる場
- ・eスポーツの大会、シアターなど新しい様々な活用の場を実現

地域特性を活かした賑わいをつなぐ場

【IT・ものづくり×社会課題解決のスタートアップ企業・人材を育成】
（活用の可能性）

- ・SDGs、サーキュラーエコノミーなどに係る起業家の育成拠点、ショールーム機能
- ・起業、創業の総合的な支援体制
- ・大学との連携による新規事業立ち上げ
- ・区内事業者との連携促進

多様な人材・企業などが新たな価値を創造する場

【子育て中やフリーランスの方などの多様な働き方を促し創業気運も向上】
（活用の可能性）

- ・コワーキングスペースによる仕事の間とコミュニティの構築
- ・クラウドソーシングやワークシェアの実施
- ・フリーランスや起業家との交流・連携から創業気運醸成・創業へのステップアップへ

職住近接のため多様な働き方の支援拠点

未来を担う子どもへの学びを实践する場

【これからの未来を担う子どもに向けた多様な学びの場】
（活用の可能性）

- ・区内の小中高校と連携したSTEAM教育（AIやロボット学習）
- ・一人ひとりの子どもが気軽に訪れ、多様な人材・企業と交流しながら自分の個性を生かした好きを学び・深め、将来の仕事につながる創造力を養うことができる場の構築

新たな世田谷区の産業・学びの拠点となり区内経済循環の活性化を実現していく